

# 大分県における 市町村とともに進める地区活動の実際



大分県福祉保健部 健康政策・感染症対策課

地域保健推進監 池田 裕美

# 報告内容

- 1 大分県の保健所の概況
- 2 保健所での保健師活動体制
- 3 大分県における市町村と協働した保健活動  
展開のポイント
- 4 保健所と市町村の協働活動の実際

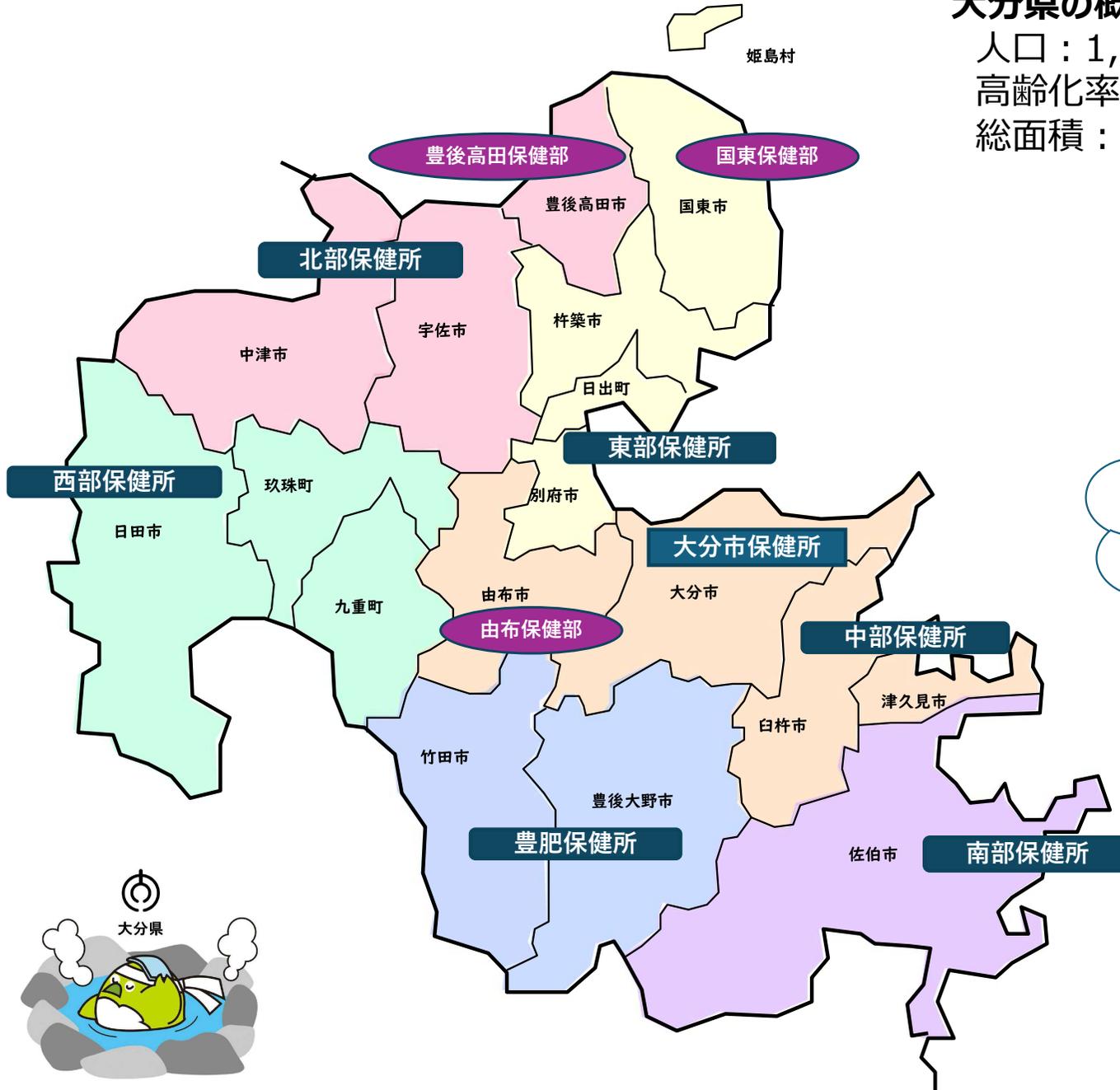
# 県保健所の概況

## 大分県の概況

人口：1,085,198人（R6.10.1現在）

高齢化率：34.4%（R6.10.1現在）

総面積：6,341km<sup>2</sup>



18市町村  
6二次医療圏

県保健所 6  
県保健部(支所) 3  
大分市保健所 1



## 【参考】

大分県内の各市町村の人口等と保健師数

※人口、世帯数、高齢化率はR6年10月1日現在、出生数はR5.10.1～R6.9.30、保健師数はR7年5月現在

自治体・所属		人口 (人)	世帯数	出生数	高齢化率 (%)	保健師数 (正規職員)
大分県		1,085,198	498,309	6,111	34.4	477
大分市保健所	大分市	470,818	217,328	3,190	29.1	107
東部保健所		165,500	78,863	845		16
	別府市	112,456	55,689	543	35.1	24
	杵築市	25,820	11,736	96	40.1	16
	日出町	27,224	11,438	206	31.6	12
国東保健部		25,742	12,619	84		5
	国東市	24,232	11,821	80	44.8	18
	姫島村	1,510	798	4	60.1	4
中部保健所		47,793	20,990	191		9
	臼杵市	33,482	14,460	150	43.0	16
	津久見市	14,311	6,530	41	47.9	8
由布保健部		32,280	13,788	201		7
	由布市	32,280	13,788	201	33.9	20

## 【参考】

自治体・所属	人口 (人)	世帯数		高齢化率 (%)	保健師数 (正規職員)
南部保健所	61,806	28,157	244		11
佐伯市	61,806	28,157	244	43.4	26
豊肥保健所	49,455	21,768	158		11
豊後大野市	31,046	13,376	103	46.4	11
竹田市	18,409	8,392	55	50.5	14
西部保健所	79,865	34,351	413		12
日田市	58,881	25,358	310	37.7	22
玖珠町	13,204	5,687	67	40.8	11
九重町	7,780	3,306	36	46.8	7
北部保健所	130,540	60,662	681		16
中津市	80,644	38,503	452	31.5	27
宇佐市	49,896	22,159	229	38.1	30
豊後高田保健部	21,399	9,783	104		5
豊後高田市	21,399	9,783	104	39.0	12

# 保健所での保健師活動体制

## 地域保健課

### ■ 健康増進班（3～4名）

- 母子保健・児童虐待予防
- 生活習慣病対策
- 健康増進（歯科保健含む）
- 介護予防
- 看護対策
- その他の県民の健康の保持増進に関すること

### ■ 疾病・感染症対策班（3～7名）

- 精神保健
- 難病対策
- 結核対策
- 感染症対策
- エイズ対策
- 介護保険・介護認定適正化
- その他（各種検査事業）

### ■ 食育・栄養指導班【東部・豊肥・北部】

### ■ 企画調整担当保健師（1名）

（例）

#### 業務担当制の中の地区担当制

- ・主と副担当の2人で母子保健業務を担当
- ・管内市町村を2人で分担し、1～2か所の市町村を担当
- ・担当市町村の母子保健業務推進のための支援を行う。（マンパワー支援含む）
- ・担当市町村の母子保健を主訴とするケースを受け持ち家庭訪問等の個別支援を行う。

## 健康安全企画課

# 大分県における 市町村と協働した保健活動展開のポイント

## 地域保健法

第三条② 都道府県は、当該都道府県が行う地域保健対策が円滑に実施できるように、必要な施設の整備、人材の確保及び資質の向上、調査及び研究等に努めるとともに、市町村に対し、前項の責務が十分に果たされるように、その**求めに応じ**、必要な技術的援助を与えることに努めなければならない。



### 市町村の必要性にもアプローチする市町村支援がデフォルト

- ☆ 企画調整担当が担うニーズへのアプローチ  
→ 地域診断 → 保健事業連絡会
- ☆ 統括保健師間の連携体制（県庁・保健所（部）・市町村）
- ☆ 保健所管内保健師等研修会・研究会

# 保健所の企画調整

大分県地域保健検討協議会

事務局 健康政策 感染症対策課

本庁

<福祉保健部>

健康政策・  
感染症対策課

地域保健企画班  
(保健師2名)

本庁各課

本庁各課

本庁各課

<生活環境部>

本庁各課

本庁各課

保健所

保健所企画調整会議 (毎月1回)・・・必須

<企画調整部門>

所長

健康安全企画課長(事務局)

企画福祉班総括

企画調整担当者

(保健師1名)

衛生課長——各班総括

地域保健課長——各班総括

保健部(地域保健課、健康安全・衛生課)

※メンバーは保健所の規模等によって異なる  
ほとんどの保健所では、班総括もメンバー  
となっている。



# 企画調整部門の活動

「保健所企画調整部門活動指針」より抜粋

## 【活動の方向性】

所内外の総合的な企画調整

各種計画の策定及び進行管理への総括的な関与

情報収集・分析  
調査研究等の推進

市町村関係部門との連絡調整

地域保健関係者の資質の向上に係る企画調整



## 【活動例】

- ・保健所企画調整会議
- ・保健所運営協議会
- ・健康危機管理の推進

- ・保健所機能強化計画
- ・事業計画(重点事業)
- ・地域保健医療計画

- ・地域診断
- ・調査研究

- ・市町村支援計画の策定
- ・市町村保健事業の一体的な推進への支援

- ・保健所及び市町村職員の研修の企画調整

保健所  
行動計画

保健事業  
連絡会

# 保健所の保健事業連絡会

## 【例】R7年度津久見市保健事業連絡会

### 出席者名簿

～ 次 第 ～

### 議題1 「健康寿命延伸に向けた取組」

- ①津久見市における健康寿命補助指標について
- ②データヘルス計画の34指標について
- ③大分県健康課題解決支援事業について
- ④津久見市における健診・医療・介護データからの課題と必要な対策

### 議題2 「災害時保健医療対策について」

- ①市町村における災害時保健活動推進体制アンケート調査結果
- ②津久見市における受援マップ作成について
- ③津久見市の地域特性と課題
- ④大分県における防災対策

	課・係名	職名	氏名
1	津久見市 健康推進課	課長	
2	津久見市 健康推進課	主幹（総括）	
3	津久見市 健康推進課	主幹	
4	津久見市 長寿支援課	課長	
5	津久見市 長寿支援課	主幹（総括）	
6	津久見市 防災危機管理室	室長	
7	津久見市 防災危機管理室	主幹（総括）	
8	中部保健所	所長	
9	中部保健所 健康安全企画課	次長兼 健康安全企画課長	
10	中部保健所 地域保健課	参事兼 地域保健課長	
11	中部保健所 地域保健課	課長補佐 （総括）	
12	中部保健所 地域保健課	主幹（総括）	
13	中部保健所 健康安全企画課	課長補佐 （総括）	
14	中部保健所 健康安全企画課	技師	

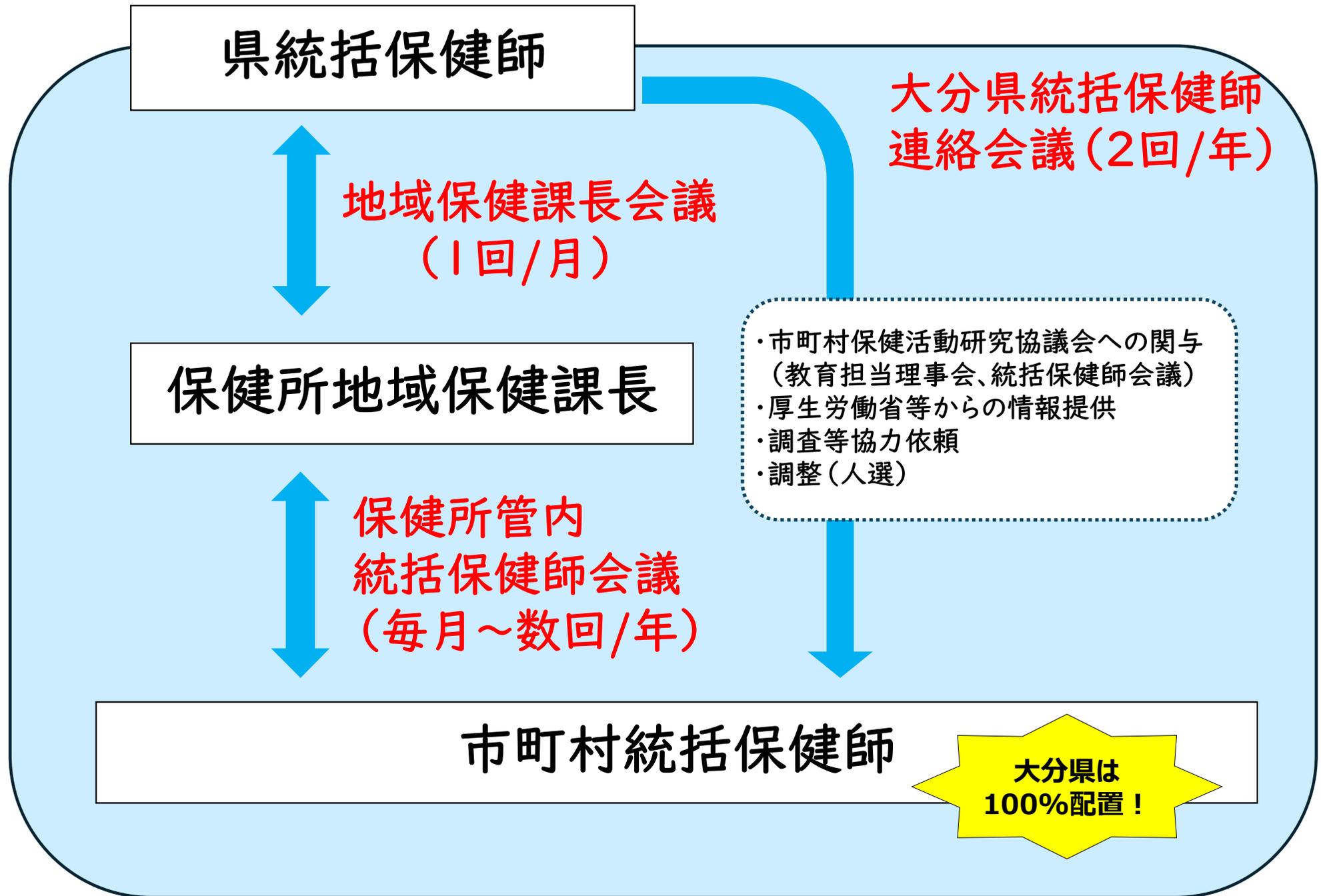


# ～④津久見市における健診・医療・介護 データからの課題と必要な対策～

## 健診・医療・介護データからの課題と、必要な対策

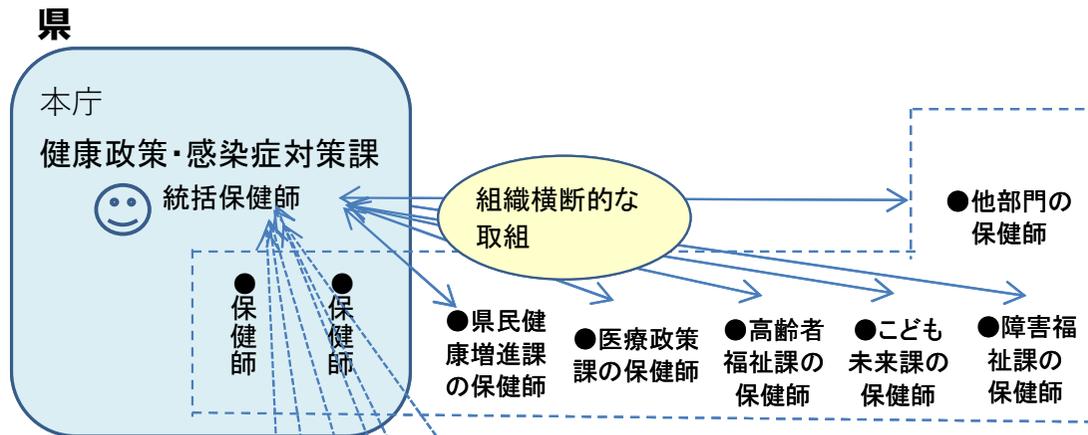
	課題	対策
健診	<p><b>健診受診率の低下</b>  <b>有所見の状況</b>                      BMI、血圧、血清クレアチニン、eGFRの有所見率が大大分県より高い                      質問票「固いものが食べにくい」「歩く速度が遅くなった」「この1年間で転んだ」割合が県平均より多い</p>	<p>○健診受診率向上対策</p> <p>○健康状態不明者の状態把握</p>
	<p><b>一人あたり医療費の増加</b>                      ・前年度比+56,375円、大大分県平均より3万円以上高い                      ・外来、調剤が引き上げている                      外来・・・「その他心疾患」「腎不全」「糖尿病」が上位を占めており、県下で比較しても高いとくに糖尿病は県下で最も高い</p> <p><b>受診率が高い</b>                      ・生活習慣に起因する「高血圧」「糖尿病」「脂質異常症」が上位5位までに入っており、県下でみても多い状況にある</p> <p><b>有病率が高い</b>                      ・「生活習慣病」「高血圧」「脂質異常症」「虚血性心疾患」は、国保、後期いずれも1位と高い</p> <p><b>人工透析者は高止まり状態？</b>                      ・後期高齢は増減率は低いものの、有病率でみると県下で2番目に多いため、高止まりしている？</p> <p><b>歯科・歯科口腔健診受診率が低い</b></p>	<p>○重症化予防事業</p> <p>・糖尿病性腎症</p> <p>・高血圧等の生活習慣病</p>
介護	<p><b>申請時には要介護状態</b>                      ・認定率の軽度者(要支援1・要支援2・要介護1)が少ないのは、介護認定を受けずに生活を続けている方が多く、申請時には要支援ではなく、要介護状態になっていること、高齢者のみや独居世帯が多いため、家族が気づいた時には、認知症等が進行していることなどが考えられる。</p> <p><b>第2号被保険者が多い</b>                      ・脳血管疾患による介護認定者が特に多い</p> <p><b>介護の要因として、「高血圧」「虚血性心疾患」「脳血管疾患」が他市より多い</b></p>	<p>○虚弱高齢者(フレイル)の早期発見・支援</p> <p>○疾病管理</p>

# 統括保健師間の連携体制

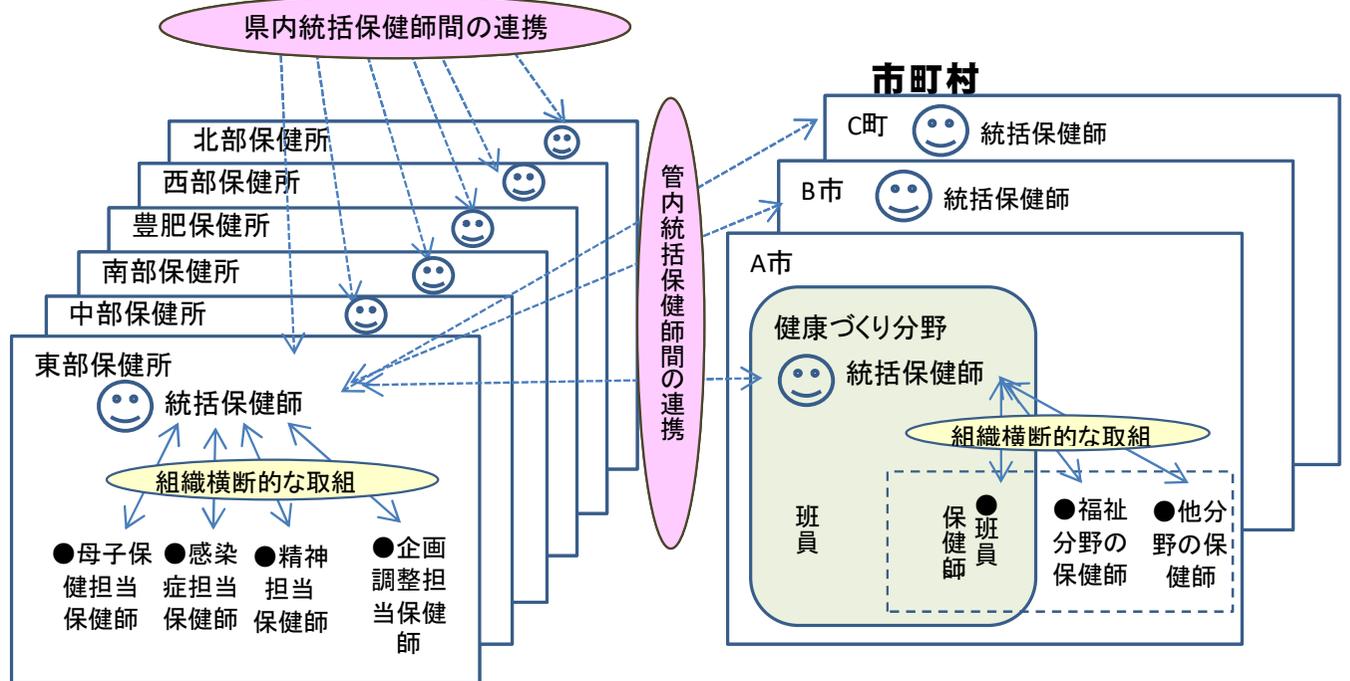


# 統括保健師の配置と連携・調整のイメージ

- 【調整・連携】**
- ・国、他自治体
  - ・庁内保健師配属課長
  - ・県内保健所(部)統括保健師
  - ・医療、保健、福祉関連機関 (医師会、看護協会等)
  - ・国保連合会、協会けんぽ
  - ・総務(人事)担当部



- 【調整・連携】**
- ・所内健康安全企画課 (保健師配属先)
  - ・管内市町村統括保健師
  - ・管内市町村保健活動関連部署
  - ・管内の医療、保健、福祉、教育関係機関 等



## ① 保健所と市町村の協働による人材育成

市町村保健師人材育成指針策定支援

新任期保健師の育成

管内保健師等研修会・研究会

## ② 災害時保健活動の備え

災害時保健活動における受援体制整備

# ① 保健所と市町村が協働した人材育成

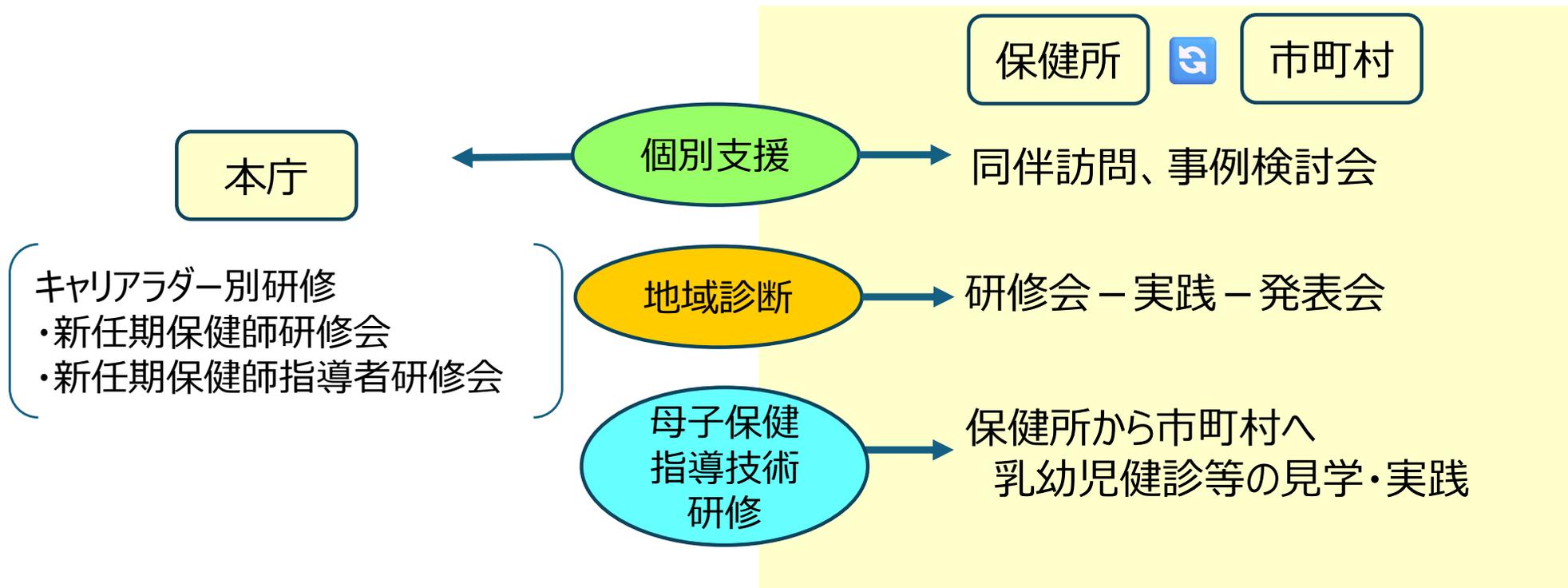
## 新任期保健師の育成

H23～25年度教育保健所整備モデル事業

対象  
県・市町村の行政保健師

→ H26年2月「大分県新任期保健師人材育成ガイドライン」策定

→ 「大分県保健所保健師新任期教教育プログラム」



□■豊肥管内人材育成研修■□

	竹田市地域保健師研究会	豊後大野市地域保健活動研究会	豊肥保健所管内新任保健師・栄養士スキルアップ研修会	管理期保健師人材育成実践検討会	大分県主催の研修				
					新任保健師研修	プリセプター研修	中堅期保健師研修	保健師管理者能力育成研修	中堅期キャリアアップ研修
対象者	竹田市内の保健師・豊肥保健所保健師	豊後大野市内の保健師、栄養士・豊肥保健所保健師	行政新任保健師・栄養士及び、そのプリセプター、統括保健師	市の40歳以上の保健師、保健所主幹以上の保健師	行政新任保健師・栄養士及び、そのプリセプター、統括保健師	プリセプター等新任期の指導にあたる職員	中堅期保健師	管理期保健師	※看護協会の研修
目的等	アセスメント能力の向上		新任保健師・栄養士が知識と技術を習得することにより、根拠に基づいた地区活動の実践、施策化に向けた提言ができるよう、保健師・栄養士として必要な基本的能力、行政能力、専門能力を育成する。		個別支援力向上(アセスメント)	個別支援における指導力の向上、管理能力の育成	地域ケア集ステム/中堅期における公衆衛生看護管理	次期リーダーの育成	
	・班別研究 ・事例検討	・事例検討	地域診断	地区診断能力、地域活動の向上	個別支援				
4月	8日 年間計画確認等								
5月	13日 班別研究	21日年間計画確認等							
6月	10日 班別研究	25日 事例検討	1回目 説明会	市主催1.6歳児、3歳児、乳幼児相談見学・実習	6月30日 第1回	6月2日 第1回			
7月	28日 合同研修(人材育成・保健活動リフレクション)								
8月	5日 班別研究						8月19日		
9月	9日 事例検討								
10月	14日 班別研究	22日 災害対策(管内合同)	2回目 中間報告会	5歳児健診実習、乳児継続訪問				10月9日	
11月	11日 事例検討								
12月	9日 班別研究	24日 事例検討							
1月	13日 班別研究								
2月	10日 研究報告		3回目 報告会						
3月	10日 年間評価	11日 年間評価							

## ② 災害時保健活動の備え

### 「災害時保健活動における受援・応援派遣マニュアル」の作成

災害時に県・保健所(部)・市町村の保健師が連携して「受援」及び「応援派遣」を迅速かつ的確に行うことを目的に作成(R5.2月)

#### ポイント

- 保健所単位で、平時に、統括保健師及び統括保健師を補佐する立場の保健師とともに内容を共有して、有事に備える
- これまでの経験を活かす
  - ・ 県内市町村保健師の派遣調整
  - ・ リエゾンの役割
  - ・ 保健師チーム等の経時的活動状況
  - ・ チームミーティングの進め方



# 【取り組み例】

大分県中部保健所

# 中部保健所管内保健師チーム受援訓練

R7.7.18中部保健所管内保健事業検討会

場面	時間	内容・検討事項	
【場面1】 避難所巡回 OR	13:40~ (25分)	GW①	<p>&lt;テーマ&gt; 受援（応援保健師の巡回訪問）の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 白杵市チーム:巡回してもらうために必要な情報について</li> <li><input type="checkbox"/> 応援保健師チーム(A・B):知らない地域を巡回するにあたりどんな情報が欲しいか</li> </ul>
		OR	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 白杵市チームから応援保健師へ巡回訪問オリエンテーション実施 白杵市Aチーム→応援保健師Aチームへ、白杵市Bチーム→応援保健師Bチームへ</li> </ul>
【場面2】 避難所巡回	14:05~ (25分)	地域巡回	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 応援保健師チームA・BはS地区巡回し地区避難所(ほっと館)へ移動</li> </ul>
		ロールプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 応援チームA(避難者2→1)</li> <li><input type="checkbox"/> 応援チームB(避難者1→2)</li> </ul>
		報告	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 各応援チームから白杵市統括保健師に報告</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 災害対策本部 (保健医療対策班) ・統括保健師、リエゾン保健師が、応援・受援マニュアルを用いた状況を確認</li> </ul>
振り返り	14:45~	GW② 発表	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 白杵市チーム:保健師チームへのORを実施しての気づきや学び</li> <li><input type="checkbox"/> 応援保健師チーム:ORを受け、ロールプレイをしての気づきや学び</li> </ul>
まとめ	15:25~	両市、保健所統括保健師から	



地域巡回～受援マップ・要支援者リストを実証



ロールプレイ～避難住民の相談場面～

## 保健所と市町村の協働の意義

1. 保健所は協働した取組を通じて、地域資源情報や質的データを収集し、市町村の実態に即した課題の共有、課題解決にシームレスに介入できる。
2. 国の施策動向と市町村の現状・課題を統合させ、地域実情に沿ったオーダーメイドの取組を支援する。
3. 県庁・保健所・市町村の統括保健師連携によって共通課題を検討し、国の施策動向と市町村の現状・課題を統合させ、地域実情に沿ったオーダーメイドの取組を支援するを横展開できる。  
→ 県全体の保健活動のボトムアップ、活性化
4. 平常時からの顔の見える連携、信頼関係による有事の迅速な体制構築につながる。



ご清聴ありがとうございました

